

第3学年英語科学習指導案

2016年10月6日(木)

3年2組 34名(ICT教室)

指導者 T1: 足立 和寛

T2: 門田 佳代

1. 単元名 物語の要約文を書く

(NEW CROWN ENGLISH SERIES 3 Lesson 4 The Story of Sadako)

2. 単元の目標

(1) 物語の要約文を書くことができる。 【外国語表現の能力】

(2) ①動詞(call, make など) + A + Bや It ~ (for A) to...の形を理解し、運用できる。

②広島原爆にまつわる情報を知り、平和について考えることができる。

【言語や文化についての知識・理解】

(3) 間違ふことを恐れずに、積極的に要約文を書こうとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

3. 単元の評価規準

観 点	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化に対する 知識・理解
評 価 規 準	ペアやグループ活動に積極的に取り組み、要約文の作成に取り組んでいる。	物語の流れに沿い、時を表す語句を適切に使って、物語の要約文を書くことができる。	/	①動詞(call, make など) + A + Bや It ~ (for A) to...の文に関する知識を身に付けている。 ②広島原爆の歴史や平和について理解する。

4. 単元設定の理由

単元観：

本単元では、言語材料としては call(make) + A + B と It ~ (for A) to... について学習する。第5文型 S V O C を学習することで、英語の基本5文型をすべて学習することになる。既習事項である不定詞を使った It ~ (for A) to... を学習することで、日常会話で頻繁に使われる表現で自分の経験や気持ちを含めた意見交換をし、自分だけでなく相手や第三者の意見を理解することが可能になる。

また題材としては、修学旅行で広島を訪れた生徒が、原爆ドームや平和記念公園を訪れた後、佐々木禎子さんについて学ぶ場面が描かれている。核兵器の威力や当時の様子に関する資料を通して、原爆と戦争の悲惨さについて知り、命や平和の尊さや禎子さんの思いを考えることができる。Use-Read では禎子さんの生涯が時系列で述べられており、段落ごとのポイントをとらえながら要約文に取り組みさせることができる。

生徒観：(3学年全体72名)

1学期当初の「表現の能力」に関する単元テストでは、与えられた情報をもとに主語と動詞のある英文を、時制を正確に使い分け、代名詞や接続詞などを適切に使って、「十分満足できる」英文(A評価)を書けた生徒が1割程度、「おおむね満足できる」英文(B評価)を書けた生徒が6割程度であった。約3割の生徒

が「努力を要する」C評価で、そのうち10名は無回答であった。生徒への意識調査の結果においても英語を得意としている生徒は少なく、約半数の生徒が苦手意識を持っている実態が、「表現の能力」に関するテスト結果と重なり、生徒の英語に対する学習意欲と活用能力の低さが課題として浮き彫りになった。

生徒は1学期に、新出の学習事項と並行して1, 2年に学習した内容について復習してきた。また不規則動詞の活用変化の小テストを通して語彙を増やすことにも取り組んできた。しかし、学習意欲や学力の格差は大きく、学習形態の工夫などによって授業中の取組を充実させることによって学習意欲を向上させ、さらに自主的に家庭学習に取り組ませたい。

また、これまでの学習過程でのペアワークやグループワークでの教え合いやコミュニケーション活動の中で、積極的に関わることが苦手な生徒も少なくない。リーダーシップを発揮して積極的に関わることを得意とする生徒のいるグループとそうでないグループで、活動の充実度に大きな差があり気になっている。

指導観：

知識を活用につなげるために、スモールステップを意識したワークシートやその説明を簡略化するプレゼン資料を有効活用し、実際に身近な場面で新出事項を使う表現活動に取り組ませる。表現活動においては、要約文を書くために必要な、接続詞など文と文をつなぐ言葉（ディスコースマーカー：and,so,but,becauseなど）にも触れていくことで、教科書の本文の内容をディスコースマーカーを使って要約したり、簡単な表現活動を通して要約文を書くことに慣れさせたい。

本単元の学習においては、生徒のアンケートを基に①Leader②Sub-Leader③Slow Learner1④Slow Learner2 の4人（数班は3人）で構成した英語班を活用する。表現活動を行うための準備として、習熟度別に新出の文法項目を扱い次時につなげていきたい。Aグループ（リーダー、サブリーダー）では新出の文法項目のパターン練習と本文の扱いを通して、次時の表現活動では同じ班のBグループの生徒への手助けができるよう意識を持たせたい。Bグループ（Slow Learner）では新出の文法項目の練習と、本文のポイントを定着させ、次時の表現活動で新出事項を活用できるよう準備させたい。Aグループの生徒には「教えることを通して学ぶ」ことを意識させ、Bグループの生徒には「わからない」「教えて欲しい」と遠慮なく言える雰囲気作りを行い、英語班のメンバーでの活動を通して学習意欲の向上につなげたい。

5. 単元指導計画と評価計画（10時間扱い）

時間		学習活動・ねらい	習熟	評価（方法）
1	Pre Reading	○本単元の目標を確認する。 ○広島原爆にまつわる情報を知り、平和について考える。		エ② （ワークシート）
2	Get	○call(make) + A + Bの文の構造を理解する。	○	
3	①	○ネコ型ロボットの紹介文を作る。		エ① （ワークシート）
4	Get	○It ~ (for A) to...の文の構造を理解する。	○	
5	②	○自分にとって大切なこと（うれしいこと）について書く。		エ① （ワークシート）
6	USE	○本文の内容の大筋をつかみ、内容についておさえる。	○	
7	Read	○本文の流れに沿って、内容を整理する。		イ （ワークシート）
8	USE	○要約文を書くときの内容や構成の工夫について考える。	○	
9	WRITE	○意見交流し、要約文の修正や加筆をする。		ア（原稿）
10		○互いの要約文を見て、良さと改善点を出し合う。		イ（原稿）

【本時】

6. 本時案

(1) 題 目 : 自分にとって大切なこと (うれしいこと) について書く。 (5 / 10)

(2) ねらい : It ~ (for A) to…の文の使い方を理解して、自分にとって大切なことやうれしいことについて英文で説明することができる。

(3) 展 開

学習活動	支援及び指導上の留意点	時間	備考 (*評価)
1.Greeting	○英語学習の雰囲気づくりをする。	1	
2.既習事項の復習	○基本文チェックテストのポイントを確認する。 ・代名詞の復習	5	・基本文チェックテスト
3.本時のめあてと流れの確認	○学習の流れを示し、めあてを確認し意識させる。 ・基本文を確認する。 It is important for us to see the reality of war.	2	・ホワイトボード
4.本文の音読	○ペアやグループで音読練習をし、ポイントを確認する。	7	PC, プロジェクター ワークシート No.17
5.Main Activity	自分にとって大切なことやうれしいことについて説明しよう！		
(1)形容詞の確認	○既習の形容詞を発表させ、確認、練習する。	3	ワークシート No.17
(2)モデル文の作成	○状況によって使う形容詞を判断し、文を作る練習をする。 ・接続詞などを意識して、1文を付け加えて書かせる。	10	
(3)例文の読解	○ウサインボルト氏のインタビュー記事を読み、文と文のつながりや It ~ (for A) to…の実際の使われ方を参考にさせる。	10	
(4)自分のことについて書く	○学習内容を参考にして、自分にとって大切なことやうれしいことについて書く。	10	
6.まとめをする。	○It ~ (for A) to…の文を使い、文と文のつながりを意識することで、大切なことやうれしいことについて説明できる。 ・家庭学習で英作文を完成させ、翌朝提出するよう確認する。	2	*工① (翌日)